

令和8年度 第2回

認知症サポート医・かかりつけ医フォローアップ研修会

～ 認知症医療連携フォーラム in 長岡 ～

「MC I・認知症の早期診断に向けて」

～認知症はいつから始まるのだろうか？～

- 1 日 時 令和8年11月26日(木) 18:30～19:30 (18:00 から入室可能)
- 2 開催方法 Zoom によるオンライン開催
- 3 講 師 三島病院認知症疾患医療センター センター長 森田 昌宏 氏

4 プログラム

司会・コーディネーター 三島病院認知症疾患医療センター センター長 森田 昌宏 氏

18:30	開会
18:35	講義 「MCI・認知症の早期診断に向けて」～認知症はいつから始まるのだろうか？～ 講師：三島病院認知症疾患医療センター センター長 森田 昌宏 氏
19:15	質疑・総合討論
19:30	閉会

5 参加申込み

申込締め切り：令和8年11月19日(木)

右記QRコードを読み取り、

新潟県電子申請システムからお申込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=34318



6 その他

本研修受講により、「日本医師会生涯教育制度対象講習会」1単位を取得できます。

(カリキュラムコード：29 認知能の障害)

また、「にいがたオレンジドクター」の認定を更新できます。

今回の研修会の趣旨 ～企画された森田先生より～

抗アミロイドベータ (Aβ) 抗体薬の実臨床導入以降、MC I (軽度認知障害) の概念が一般の方々にも普及しつつあり、早期の段階で初診される方も増えてきました。抗Aβ 抗体薬投与の条件としてバイオマーカー検査で脳内にAβ の蓄積を確認することが求められています。従来から用いられてきた診断、疾患分類の体系ではバイオマーカーに頼ることなく症状・経過に基づいて進められるルールでしたので、臨床診断は「アルツハイマー型認知症」ないし「アルツハイマー病によるMC I」であってもバイオマーカー検査によってAβ が確認できないケースがしばしばあります。このような相違は当然ありうることなのですが、患者さん本人やご家族の誤解を招かないような説明の工夫が求められます。症状・経過に基づく診断、疾患分類の体系とバイオマーカー検査との間の擦り合わせが本当は必要なのではないかと思えます。

バイオマーカーによれば症状がまだ現れていない「前臨床期」においても認知症疾患の診断が可能です。しかしバイオマーカーがいかに進歩したとしても症状・経過に基づく診断が無用とはなりません。今後はより早期の症状をいかにして捉えるかが大きな課題になると思います。以前は記憶の障害のみでとらえられていたMC I は、今では記憶以外のさまざまな認知機能領域についても評価されます。客観的な認知機能低下に先立って出現することもある主観的認知機能低下 (SCD) あるいは軽度行動障害 (MB I) という概念も提唱されており、これら認知症の前駆症状を把握する試みが早期診断のカギとなるかもしれません。

講師 森田昌宏 記

お問い合わせ

長岡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 前山

TEL:0258-33-4931 E-mail:ngt111430@pref.niigata.lg.jp